



落合支部だより 第154号

落合支部エリア 真亀・落合全域 落合南2-5

支部長 千葉 和子
健康まちづくりセンター
山下 知子
☎ 082-879-8124

2020年はコロナに振り回された1年でしたが、2021年もまだ終息する兆しは見えていません。そんな中でも1日1日は過ぎていきます。

さて、どうすれば明るく笑いのある時間が過ごせるか考えてみました。2020年の新語に“**びえーん**”と“**ぼおーん**”というのがあるそうです。全然知りませんでしたが、ラジオで年配の方が考えたものが紹介されていましたがなかなか面白かったです。



皆さんも流行に乗り遅れないように一つ考えてみませんか？

そこで私も一つ。

「久しぶりに会った孫にマスク越しでもニコッと笑ってもらってぼおーん！！」

年末・年始が楽しく明るく過ごせますよう願っています。

組合員・介護事業所交流会 2020 Part①

～組合員と職員がお互いを知ることのできるか。
いつも相談し合える関係づくり～

11月13日（金）、組合員・介護事業所交流会に参加してきました。

内容は、3介護事業所の紹介と3支部の活動内容でした。短い時間で介護事業所の中身を知るのは難しいですが、しっかり利用者さんと向き合って介護なり看護なりをされているのがよく分かりました。支部の方たちの日ごろのおしゃべり会の話も興味深く、羨ましく聞いていました。

梅林支部の活動の話は、参加してみてもしゃべりの概念が変わったとか、参加することで元気になって帰られる方もいるという話がありました。



「事業所と組合員が情報を交換することで、問題があれば解決に向かうこともあるのではないのでしょうか。それには、いい関係づくりをしていくことが必要ですね。」と締めくくられました。機会を作ってあすなる地区でも話を聞く場を作れたらと思いました。

また、part②もあるようですので、介護に関心のある方は、是非参加してはいかがでしょうか。

2020年度広島県高齢者大会に参加して

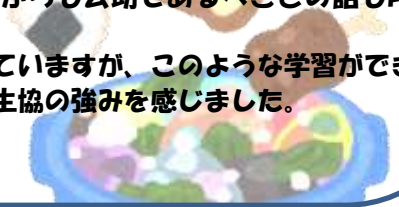
11月30日（日）に、広島県高齢者大会がありました、記念講演「減らそう食品ロス～食品ロスから現代社会を考える」は、単純に食物を大事にしようという話ではありませんでした。

食品ロスは食べ物を商品としてみならず資本主義経済の産物であることに納得。

日本の食品自給率の低さも愕然とします。幅広い世代に、特に未来を担う子供たちに、食べ物は自然からの贈り物である、食べ物は命である、食べ物に感謝する、食べ物を無駄にしないことを伝えていく必要があることを強調されました。

フードバンクの活動も紹介されました。食品ロスの発生抑制・削減・有効活用の大きな柱になり、持続可能な循環型社会の構築になるが、あくまで共助であり、本来は憲法に保障されている生存権の点からも公助であるべきとの話も印象に残りました。

日々、漫然と生活していますが、このような学習ができ、情報が入ってくる医療生協の強みを感じました。



体調管理には十分気を付けてください

今後の予定

コロナ感染拡大のため、百歳体操及び健康チェックは引き続きお休みします。

毎年作っている「**廃油石鹸**」が今年も出来ました。1つ100円です。体以外はどこにでも使える石鹸です。粉は水で溶いたり、塊でも水に漬けておいて水溶液を使うと便利です。・・・問い合わせは、健まちまで。

皆様のまわりで困りごとはありませんか？

日頃の生活の中で誰かの手が必要なことや心配事などありませんか？

皆様のまわりで困ったことがありましたら、健康まちづくりセンターまでご連絡ください。

☎ (082) 879-8124